

# 3相の〈ことづくり〉で社会へ架橋する —問題解決型支援から成長促進型支援へ—

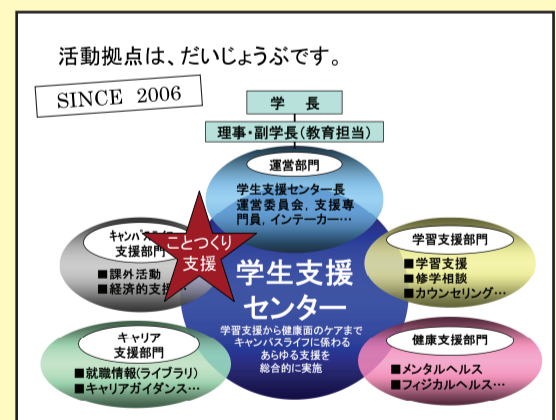
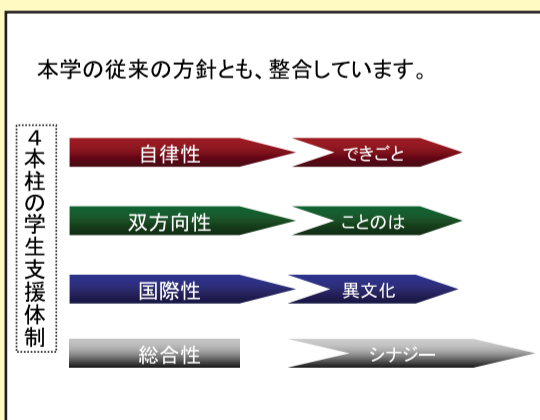
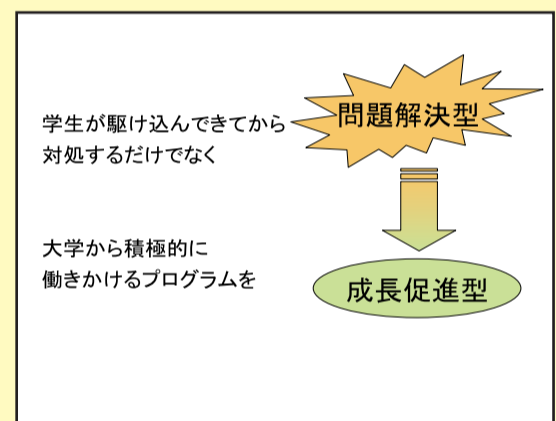
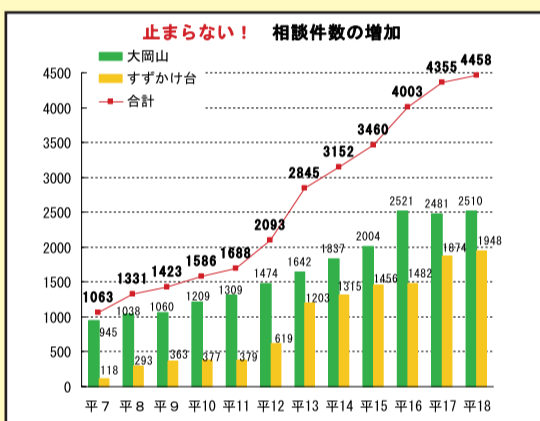


東京工業大学

## 取組の背景・目的

これからの学生支援の方向性として“学生が駆け込んできてから対処する”という「問題解決型」の支援のみならず、“大学から積極的に働きかけるプログラムを提示する”「成長促進型」支援を工夫・立案する必要性が高まっている。とりわけ相談内容では「対人関係」に関するものが最も多く、“今の大学生は社会性・協調性に欠けるのか？”と危惧される事態になっており、「国際的リーダーシップを発揮できるような創造的人間の育成」をめざす試みが求められていた。

このような現状を打破するために、たくさんの支援形態が幾重にも重なり、かつ姿をかえながら学生を育てて支えていく、3相の〈ことづくり〉を通じて、社会へ架橋するプランを立案した。



## 新たな試みの有効性とこれから

3つの〈ことづくり〉ムーブメントの全体像は、行動が結実するシンクタンク（第1相）、伝える力を養う言の葉の繁り（第2相）、異文化から汲み上げられた水脈（第3相）という概念図に集約されている。

このように構造的に3つの〈ことづくり〉を位置づけることで、より戦略的かつ効率的に学生支援を実りあるものにしていくことができる。さらに、この3相どうしの交流を深めるための〈ことづくり〉学生シンポジウム、教職員対象の「学生支援力」向上企画、国内外先進校への実施調査・交流といった事業を加味することで、“自律性・双方向性・国際性・総合性”という言葉に集約される本学の「4本柱の学生支援体制」をいっそう推し進めていくことになる。